

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	といる		
○保護者評価実施期間	2024年12月12日		～ 2025年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年12月12日		～ 2025年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	バリエーション豊かな活動の提供	・子どもたちが視覚的に楽しみを持てる月案の作成。 ・平日は個別支援やクッキング、公園遊び、製作活動等、室内外での固定化されないプログラムを提供することで児童が楽しみながら成長を感じられる支援を意識している。また、土曜、祝日や長期休暇の際は、施設外活動を多く取り入れることで、様々な経験(体験)を積み、協調性・社会性が向上できるようなプログラムの提供を行なっている。	一つの活動提供だけでなく、自己選択ができる力を養うために、バリエーションをより増やし、児童が自分で選べる活動の提供を検討していく。
2	土曜、祝日、長期休暇中における長時間のサービス提供を実施。	ご家族にとってレスパイトケアになれるように長い時間サービスを提供している。その中で、施設外での活動を多く取り入れ様々な経験を重ねられ、平日に支援の場面が限られるADLやIADL面を場面ごとに個別で時間をかけて支援を重点的に取り組める。	施設外活動を楽しむだけでなく、目的を今以上に児童が理解して取り組んでもらえるよう支援していく。
3	送迎サービスの提供	送迎サービスを実施することで直接保護者との関わりが持てる。その中で、児童の事業所や学校、自宅での情報共有が密にでき、相談がしやすい状況となっている。また、ご家庭の状況によって、相談があれば可能な限り急な送迎場所や時間の変更への対応を都度行なっている。	平日は活動時間が短く、支援を優先するがゆえに細かな情報共有が職員間でできないことがある。送迎開始前に職員間で統一した情報共有の時間を設け、現在以上に細かな情報まで提供できるように取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催ができていない為、保護者間の交流や家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)等の提供機会が不十分である。	開所一年目ということもあり、保護者会や家族支援についてのニーズを把握する機会が少なかった。	ご家族のニーズと必要性を考慮し、検討・実施していく。
2	放課後児童クラブや、地域の他のこどもと交流する機会が少ない。	・放課後児童クラブを利用する児童が少なく関わる機会がほぼなかった。 ・地域のイベント等の情報収集ができておらず地域の子どもと交流ができていない。	・放課後児童クラブを利用している児童については、今後ご家族からの情報提供だけでなく、送迎時や必要性に応じて電話や訪問等行い、児童の様子を確認していく。 ・地域の子どもとの交流については、地域のイベントの情報収集から活動や行事に取り入れられるものがないか検討していく。また、公園での活動の中で地域の児童と交流する機会があれば関わりをもっていく。
3			